

講演

第21回児童精神科領域研究会

「子どものストレス～子どもは何を感じているのか?どう対処すれば良いのか?～」

医療法人財団青溪会

駒木野病院

児童精神科診療部長

笠原 麻里 先生

2014 **7月17日**【木】

入場無料

開演 14:00 受付 13:30

場所

ウエスティ堺

堺市西区鳳東町6丁600
(072-275-0130)

JR阪和線「鳳」駅より徒歩10分

主催

医療法人杏和会阪南病院
申込み/問合せ **072-278-0381**
研究会事務局(池田・小田)



対象: 学校・行政・医療機関・児相などこどもの医療や教育関連で執務されている方

笠原麻里先生ご略歴: ご経歴 1987年3月 東京女子医科大学医学部 卒業 1988年5月 慶応義塾大学病院精神・神経科、国立精神・神経センター国府台病院児童精神科 2002年10月 国立成育医療センターこころの診療部育児心理科医長 2011年7月 駒木野病院児童精神科診療部長就任(民間病院としては極めて少ない児童精神科専門病棟を開設)

上記の様に、国立国際医療研究センター甲府台病院や国立成育医療研究センターにおいて、児童精神医学の臨床を長くリードし、常に第一線で患者の方々と向き合ってきた、この分野のエキスパート。実際の臨床で遭遇する困難なケースへの対応など、研究だけでなく臨床に重きを置いておられる笠原先生ならではのスタンス/活動方向性を持って居られます。「精神科医療の中の児童精神科」と言う位置づけにこだわりを持たれ、「わが国の児童精神科医療の一つの理想を形作りたい」との志を掲げ、現在慶應大学医学部の精神科の中核病院である駒木野病院において、児童精神科診療部長の要職を担っておられます。

臨床実務をこなされつつ、公的な機関や学会から多数寄せられる講演や啓蒙活動要請に応じて社会的貢献を果たされると共に、併せて子どもと直接接する学校関係者やスクールカウンセラー向けの講演活動なども旺盛に行って居られます。

専門料域として、児童精神医学、小児期のストレス障害(PTSDを含む)、不登校、子どもの不安障害、子どもの統合失調症など。

所属学会・認定・資格 日本トラウマティック・ストレス学会理事、日本児童青年精神医学会評議員、日本精神神経学会専門医、精神保健指定医など

著作 「思春期のうつがよくわかる本」(2009年講談社)、「子どもの心をストレスから守る本」(2010年講談社)、「こどもの人格発達への障害」(2011年中山書店)、「子ども心の心診療医の養成に関する一般精神科医向けの研修テキスト」(分担執筆、日本精神神経学会/厚労省)他、多数

.....この面をFAXにてお送りください.....

第21回児童精神科領域研究会

2014年7月17日(木) 14:00～

参加申込み(FAX:072-278-1887) 後日参加票をFAXにてお送りいたします。

ご芳名

ご所属

住所

TEL

FAX

複数名ご参加いただける場合は、全てのお名前をご記載ください。

問い合わせ:医療法人杏和会阪南病院総務課小田(072-278-0381)